答え 6月13日 今日は何の日クイズ

赤い字が答えです



はやぶさの日にちなんで「はやぶさと星のクイズ」

【第1問】探査機「はやぶさ」は、どこへ行って帰ってきたでしょう？

① 月　② 火星　③ 小惑星

「イトカワ」という小さな星まで行き、その砂のつぶを持ち帰りました。往復でおよそ60億キロの旅でした。

【第2問】「はやぶさ」の旅は、およそ何年かかったでしょう？

① 1年　② 7年　③ 20年

2003年に出発し、2010年6月13日に帰ってきました。何度も故障し、行方が分からなくなりながらも帰ってきたことで、多くの人の心に残りました。

【第3問】夕方、西の空でいちばん先に光って見えることが多い「一番星」の正体は？

① 金星　② 北極星　③ 人工衛星

夕方の西の空の金星を「宵の明星（よいのみょうじょう）」、明け方の東の空の金星を「明けの明星」と呼びます。

【第4問】流れ星の正体は、何でしょう？

① 星が落ちてきたもの　② 飛行機の光　③ 小さなちりが空で燃えたもの

宇宙にただよう小さなちりが、ものすごい速さで地球の空気に飛びこみ、光って見えます。多くは砂つぶほどの大きさです。

【第5問】北の空にあって、ほとんど動かない星を何というでしょう？

① すばる　② 北極星　③ 天の川

北極星は、いつも真北の空に見えるので、昔の旅人や船乗りは、この星をたよりに方角を知りました。

【第6問】七夕の織姫星と彦星。2つの星のあいだにあるのは？

① 天の川　② 月　③ 太陽

織姫はこと座のベガ、彦星はわし座のアルタイルです。天の川をはさんで向かい合っていますが、本当はとても遠くはなれています。

ねらい： 記念日の話題から、知っていることを思い出します。
声かけ： 『「今日は何の日？」から、話を広げてみましょう』
メモ： 答えのあと、うんちくを読み上げると話が広がります。

まいにち元気プリント道場
プリントのダウンロードはこちら →

© 株式会社おふとん　施設・教室・ご家庭で自由にコピーしてお使いいただけます